

平成21年度 公民館の状況および活動に関する調査

1. 調査の目的

県内の公民館の状況および活動実態を把握し、公民館が今後の地域における生涯学習を推進していく上で、どのような役割を果たすべきか検討するための基礎資料を得るために実施した。

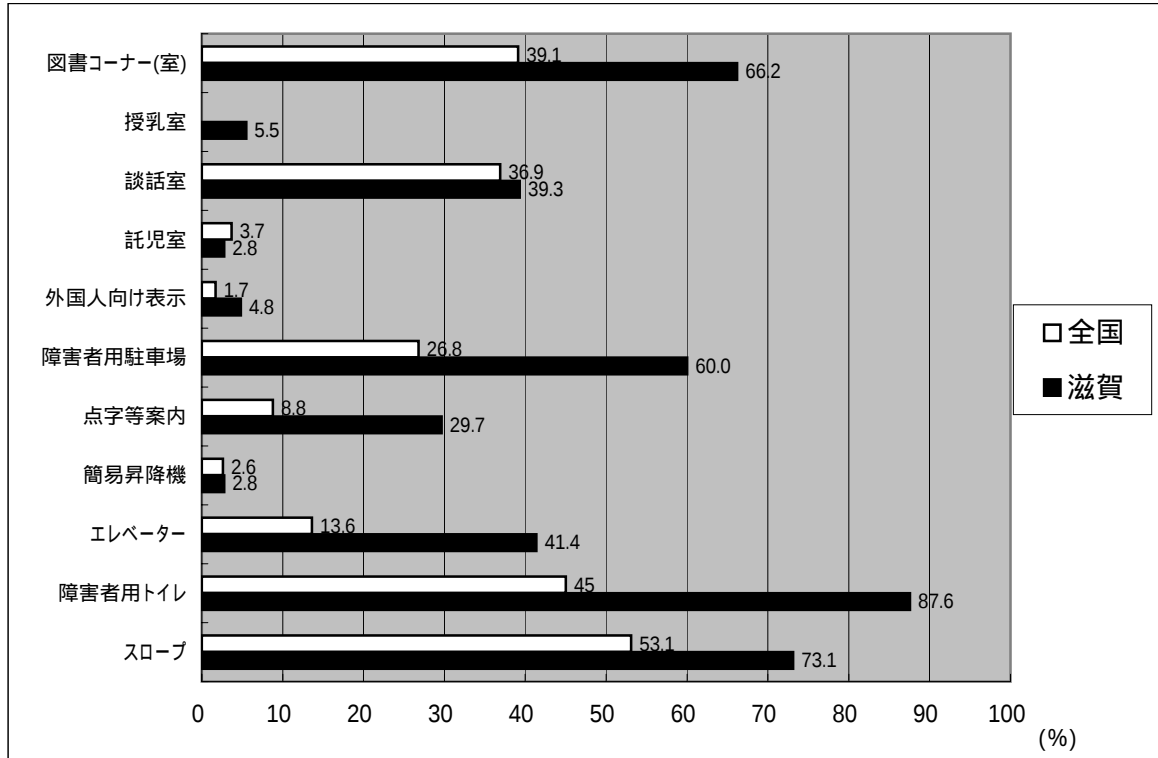
2. 調査の方法

- (1) 調査対象：滋賀県内の公民館154館(本館148館・分館6館)
- (2) 調査方法：各市町教育委員会を通じて文書にて依頼。
尚、様式は県生涯学習課ホームページ「[におねっと](#)」からダウンロード可として調査を実施。
- (3) 調査期間：平成22年3月8日～3月26日
- (4) 回収状況：147館(95.4%)

. 調査の結果

全国と比較した調査項目については、平成20年度社会教育調査の結果による。

1 施設・設備の状況について



(複数回答)

滋賀県は障害者用トイレ87.6%、スロープ73.1%、図書コーナー(室)66.2%と続く。託児室と簡易昇降機は2.8%である。授乳室は、滋賀県のみ調査した。

2 開館・閉館時刻

開館時刻	滋賀県	全国
8時前	0	0.6
8時～9時前	51.7	30.4
9時～10時前	48.3	64.8
10時～11時前	0	1.4
11時～12時前	0	0
12時以降	0	1.4
特に定めていない	0	1.4

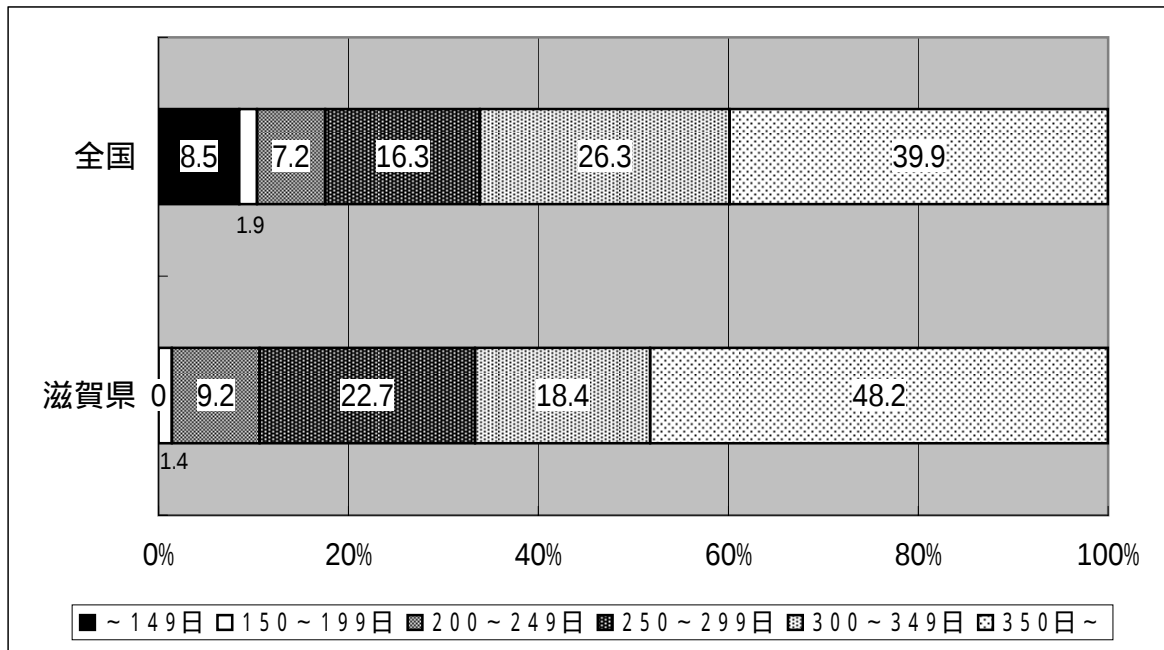
(%)

閉館時刻	滋賀県	全国
17時前	0	1.0
17時～18時前	29.9	14.8
18時～19時前	0	0.8
19時～20時前	0	0.3
20時～21時前	0	0.7
21時～22時前	16.9	27.2
22時～23時前	53.2	53.4
23時以降	0	0.7
特に定めていない	0	1.0

(%)

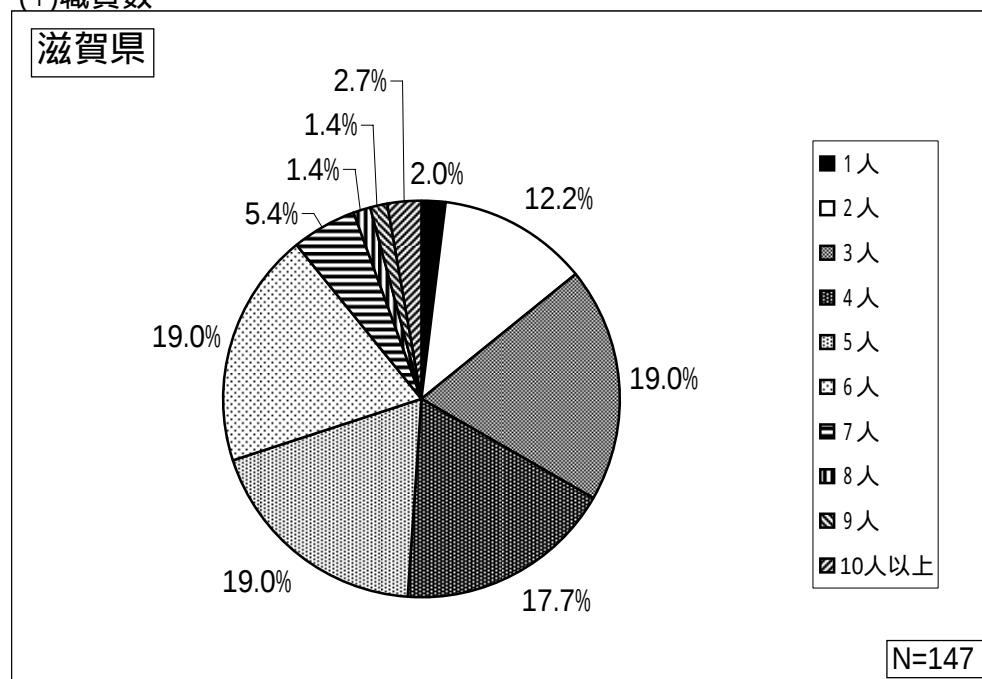
滋賀県の開館時刻は8時～10時前である。閉館時刻は、22時～23時前が53.2%であり、17時～18時前が29.9%である。

3 年間開館日数



滋賀県は66.6%の館が300日以上開館している。150日未満の館は、なかった。

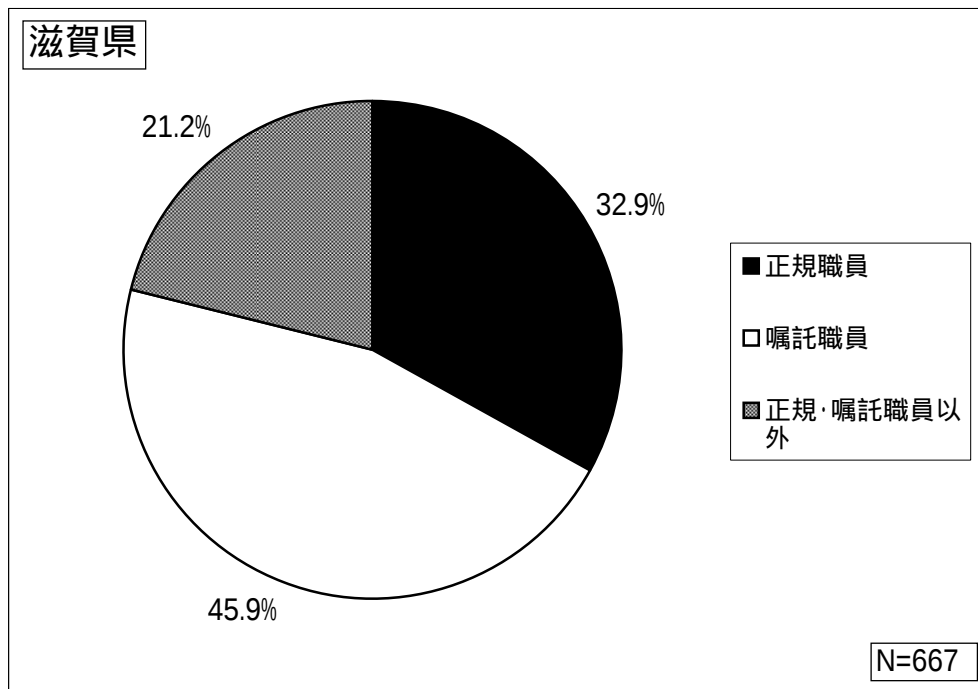
4 職員数 (1)職員数



最も多かったのが、3人、5人、6人の公民館でいずれも19.0%である。4人は17.7%である。

2.5人と回答した1館は、3人としてカウントした。

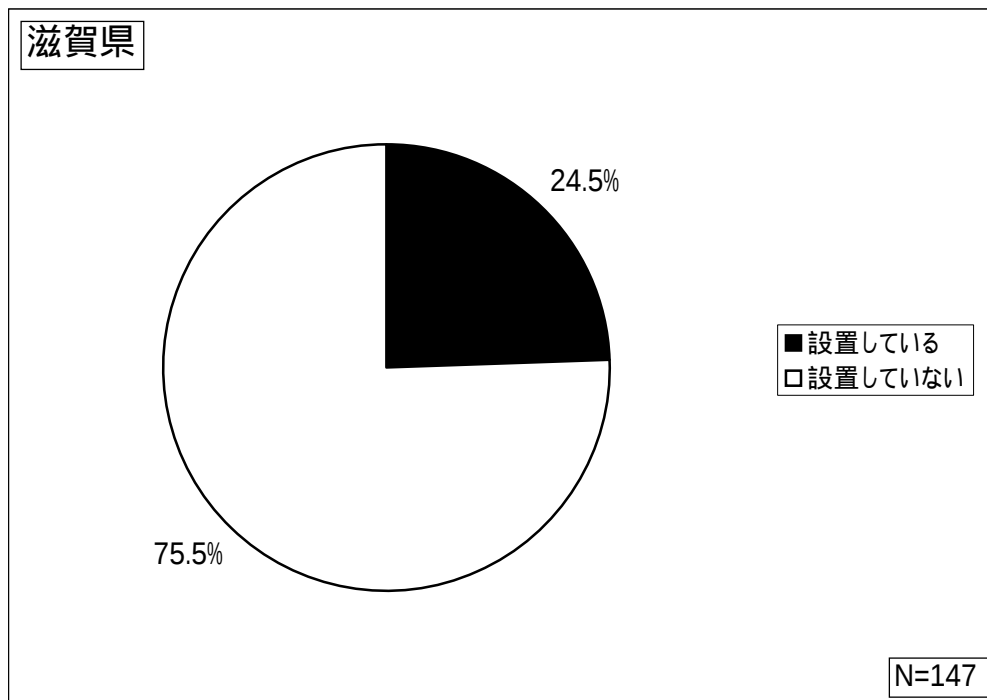
(2)職員構成



正規職員は32.9%、嘱託職員は45.9%、左記職員以外が、21.2%である。

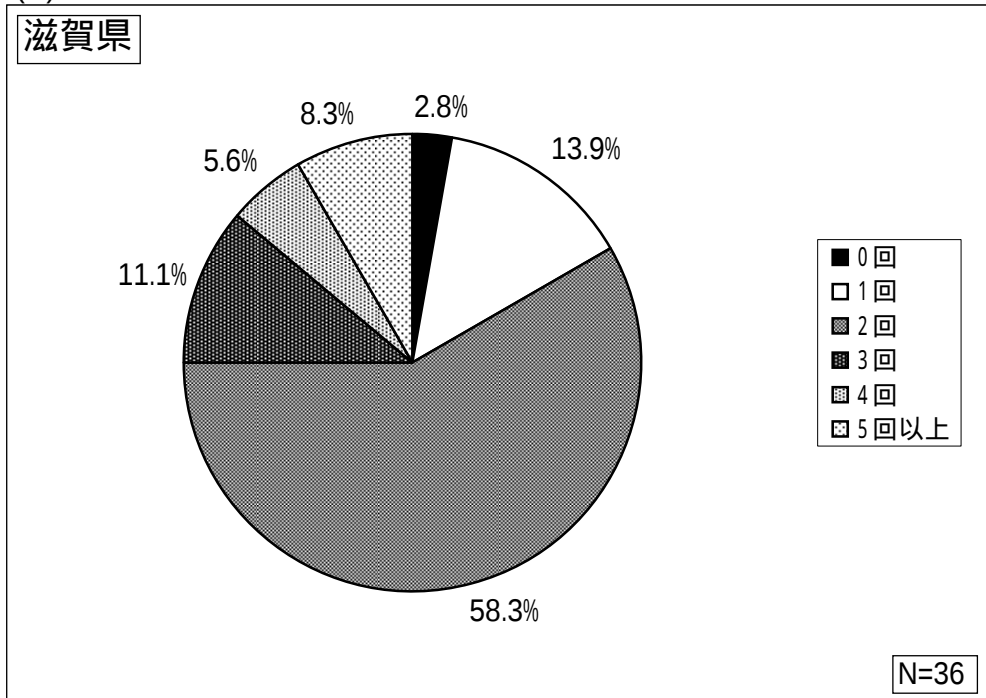
5 公民館運営審議会

(1)公民館運営審議会の設置の有無



公民館の24.5%が公民館運営審議会を設置している。

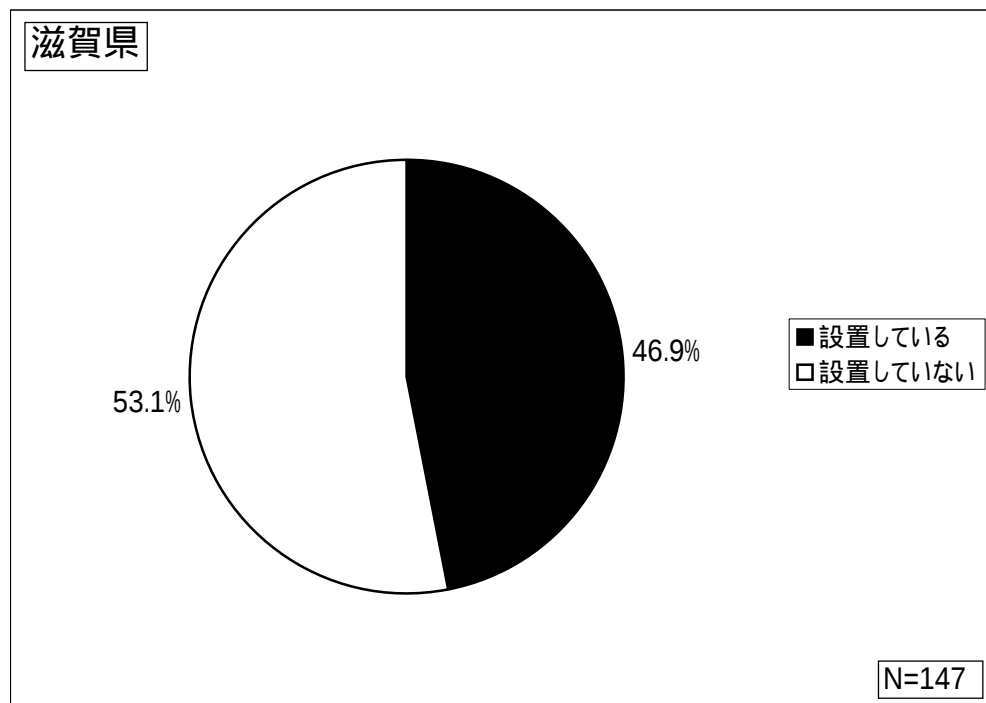
(2)年間開催回数



公民館運営審議会を設置している公民館のうち、審議会開催回数は2回が最も多く、58.3%である。1回が13.9%、3回が11.1%である。

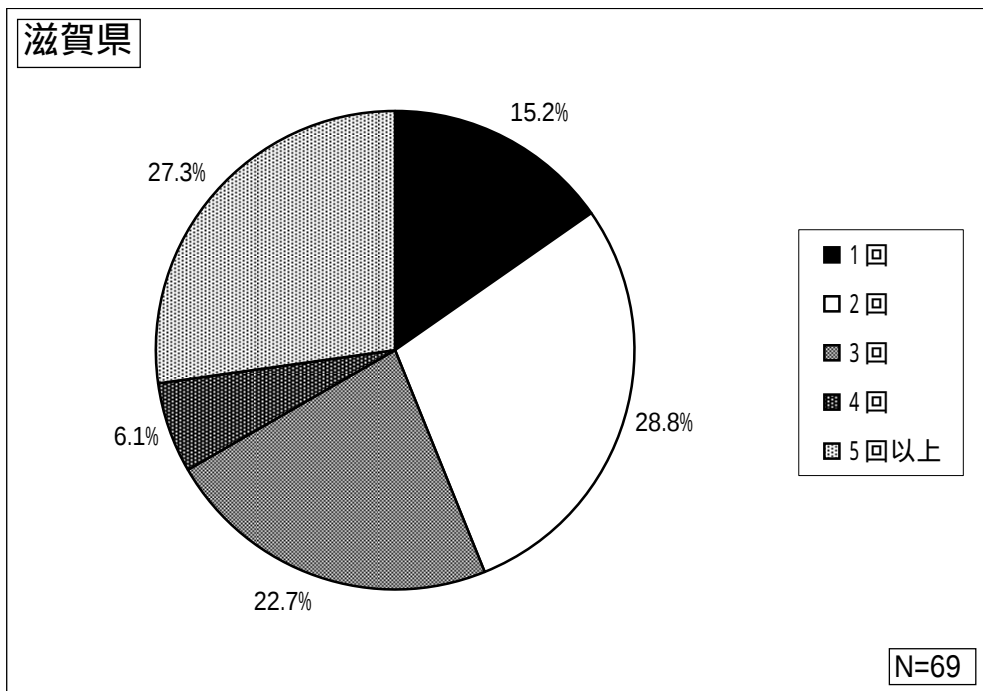
6 公民館運営に関わる会等

(1)公民館運営に関わる会等の設置の有無(公民館運営審議会を除く)



公民館の46.9%が公民館運営に関わる会等を設置している。

(2)年間開催回数



公民館運営に関わる会を設置している公民館のうち、会の開催回数は、2回が最も多く、28.8%である。次いで5回以上が27.3パーセントである。

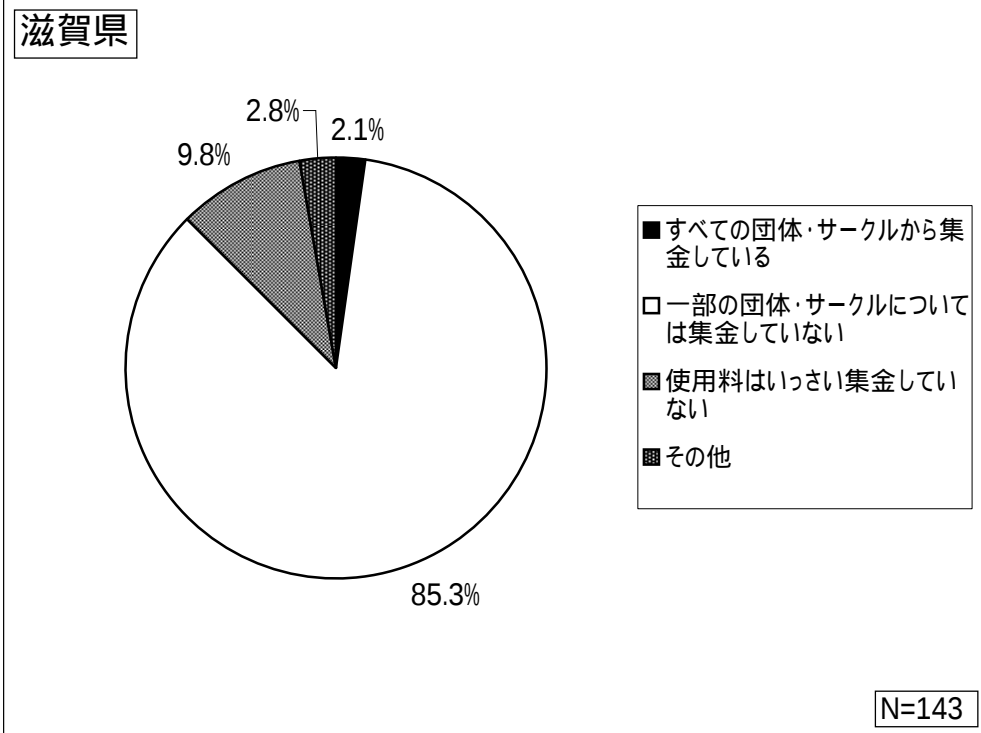
7 公民館の運営費について

(1)館主催の学級・講座での受講料について

	館数
受講料を集金している	66
実費(材料代等)のみを集金している	65
受講料は集金していない	20
その他	9

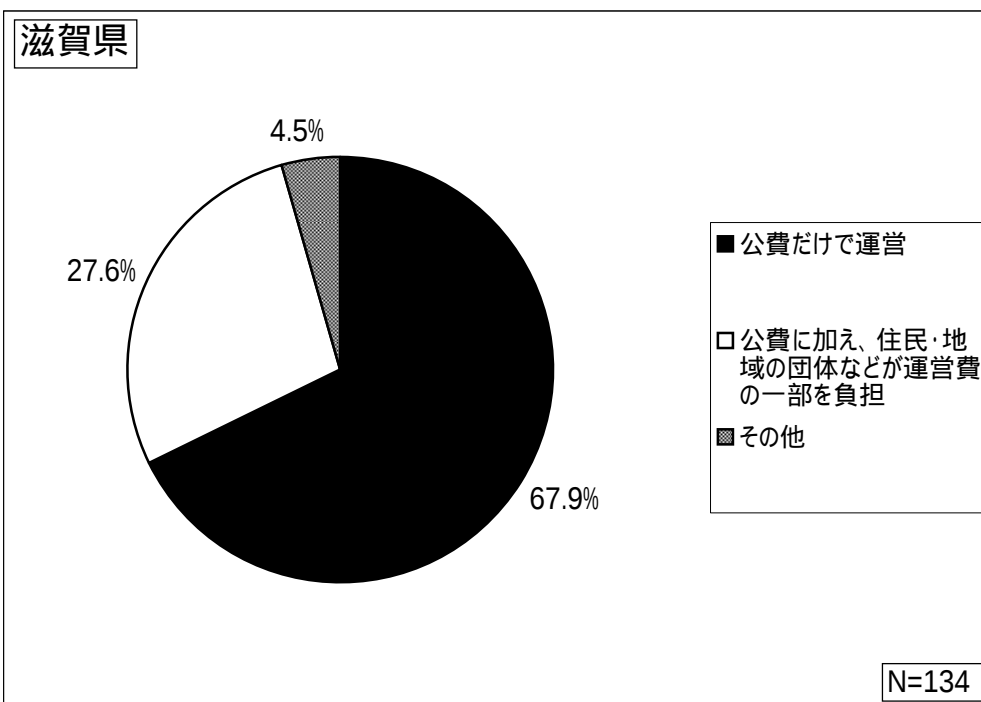
* 複数の項目を選択した公民館が、23館あった。そのため、割合で表示せずに、回答のあった館数のみ記した。

(2)貸館事業での館使用料について



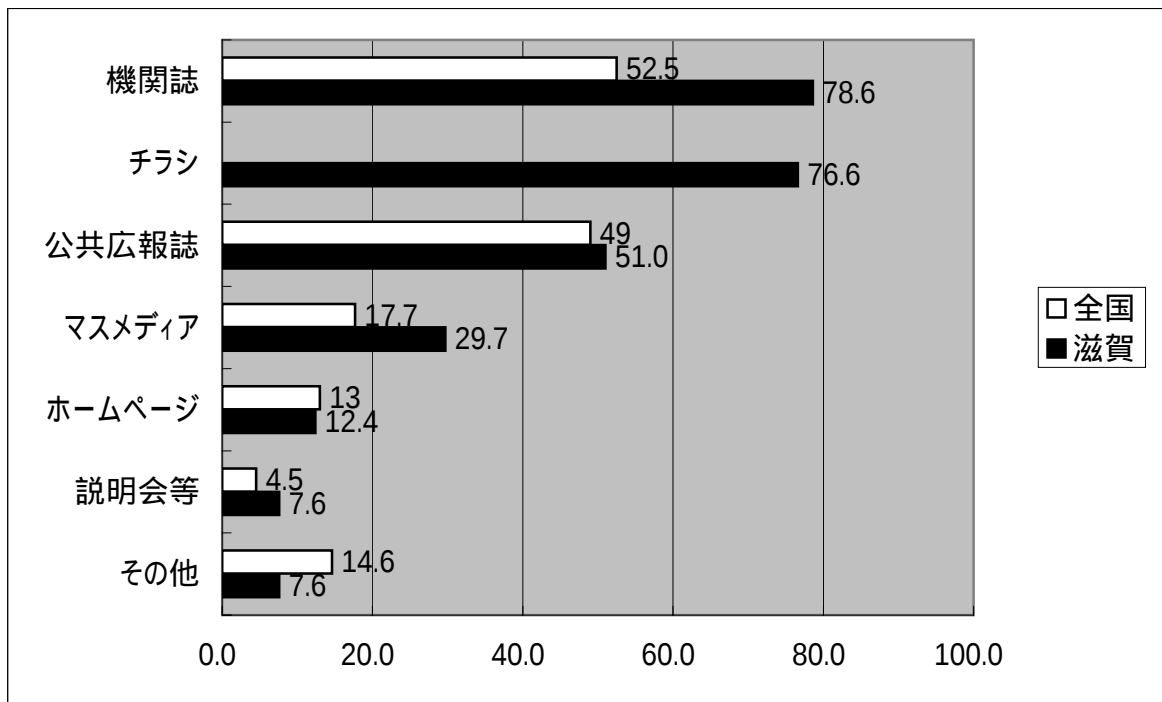
85.3%の公民館が、「一部の団体・サークルについては集金していない」と回答した。すべての団体・サークルから集金しているのは、2.1%である。

(3)受講料・使用料を除いて、館の事業・運営費(人件費・維持管理費を含む)は、どのようにして確保されているか。



公費だけで運営している公民館は、67.9%である。公費に加え、住民・地域の団体などが運営費の一部を負担している公民館は、27.6%である。

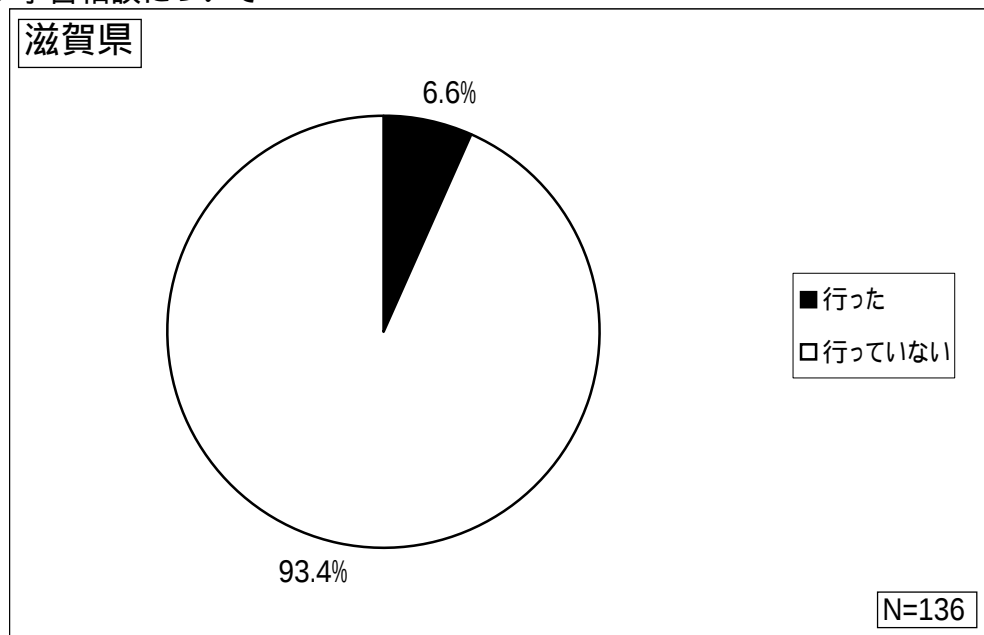
8 公民館事業に関する情報提供の方法について



(複数回答)

機関誌で情報提供した公民館が78.6%でもっとも高く、次いでチラシ76.6%、公共広報誌51.0%の順になっている。チラシは滋賀県のみ調査した。

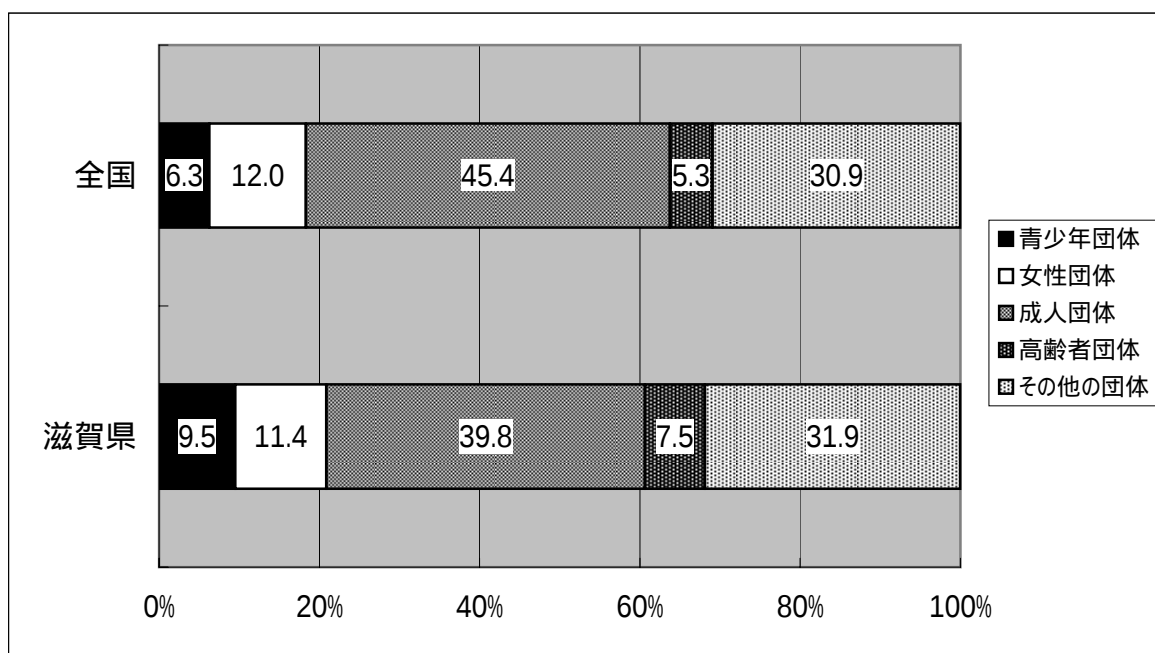
9 学習相談について



学習相談を行った公民館は、6.6%であり、93.4%は行っていない。

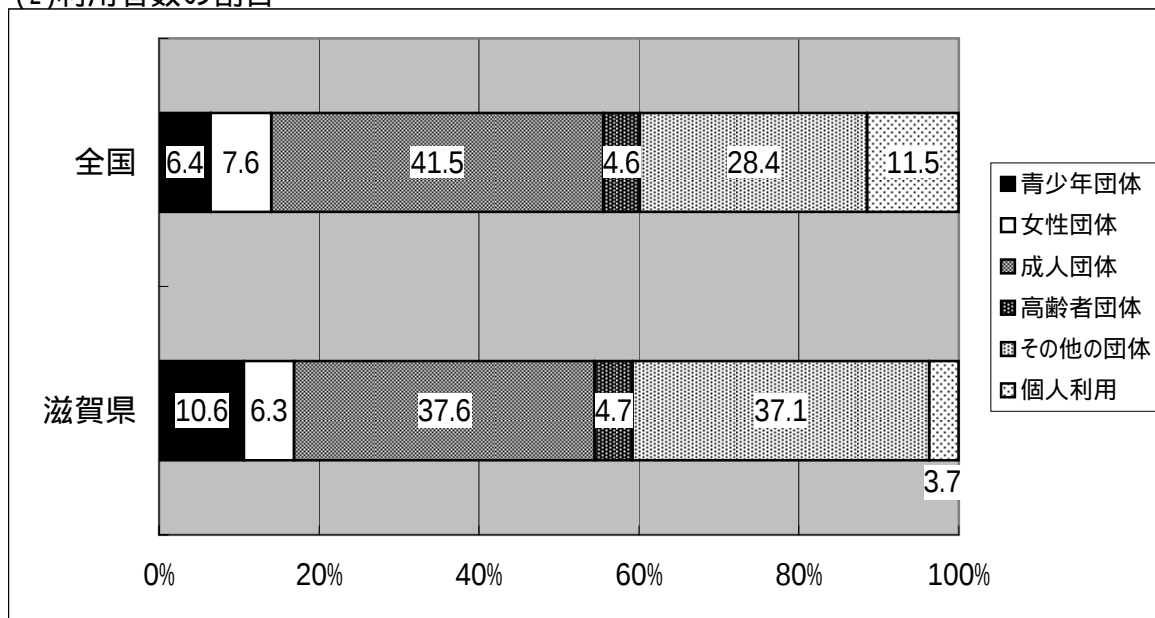
10 公民館の利用状況について

(1)団体別利用数の割合



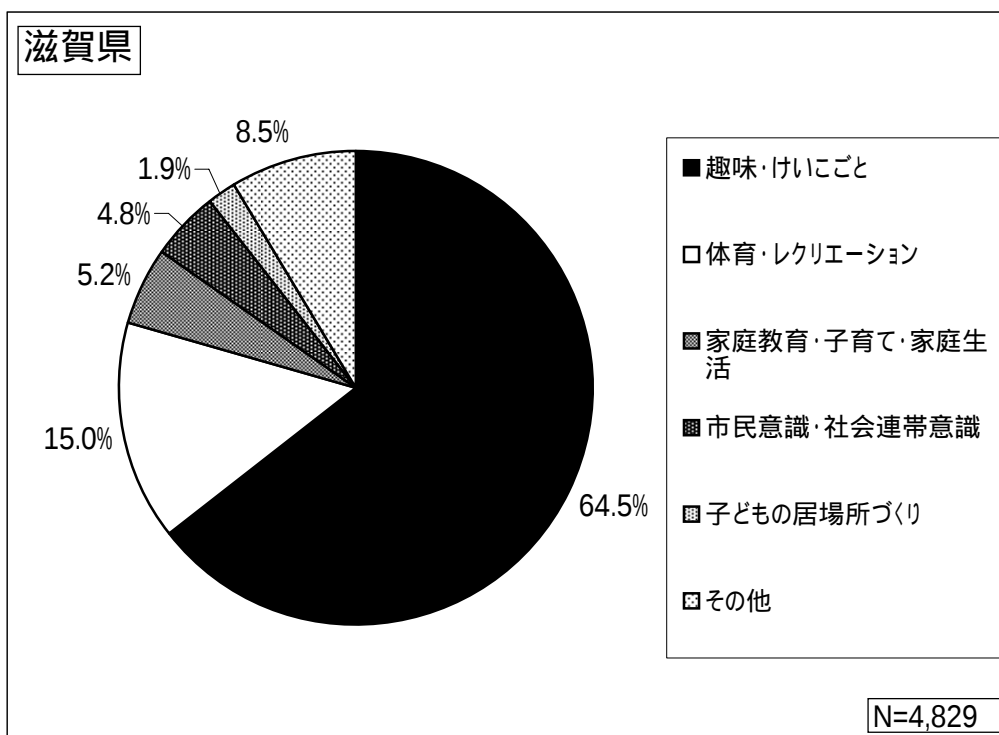
公民館の団体別利用数の割合は、成人団体が39.8%で最も高い。続いて、女性団体11.4%、青少年団体9.5%、高齢者団体7.5%である。全国と比べて、滋賀県は青少年団体の割合が3.2%高く、成人団体の割合が5.6パーセント低い。

(2)利用者数の割合



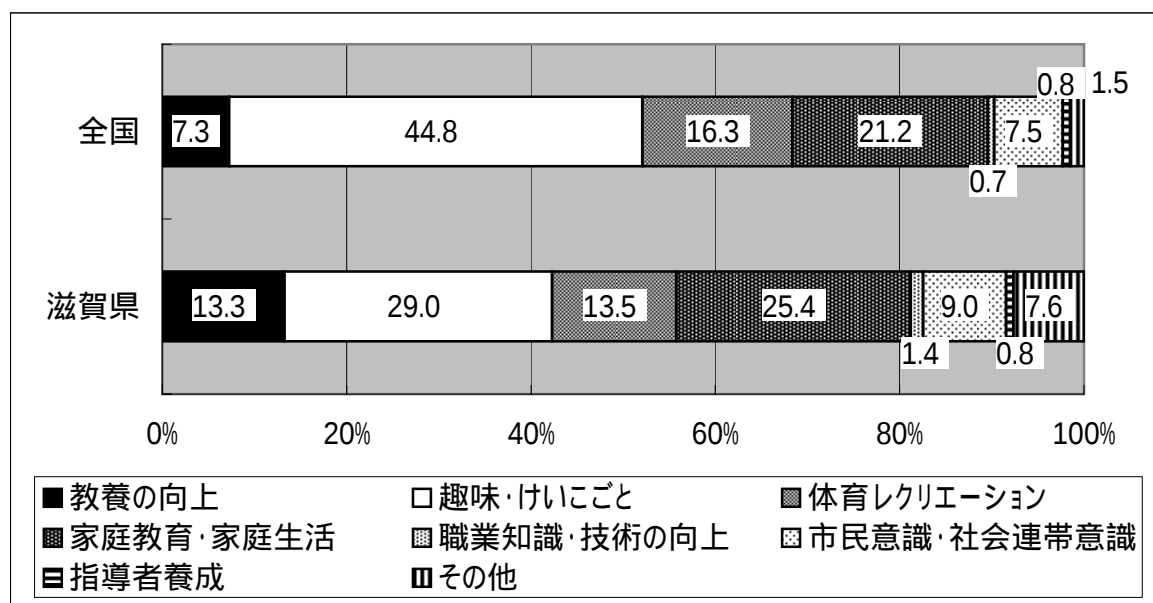
公民館の利用者数の割合は、成人団体が37.6%で最も高い。続いて、青少年団体10.6%、女性団体6.3%、高齢者団体4.7%である。全国と比べて、滋賀県は個人利用の割合が低い。

11 公民館利用の学習グループ・サークル数について



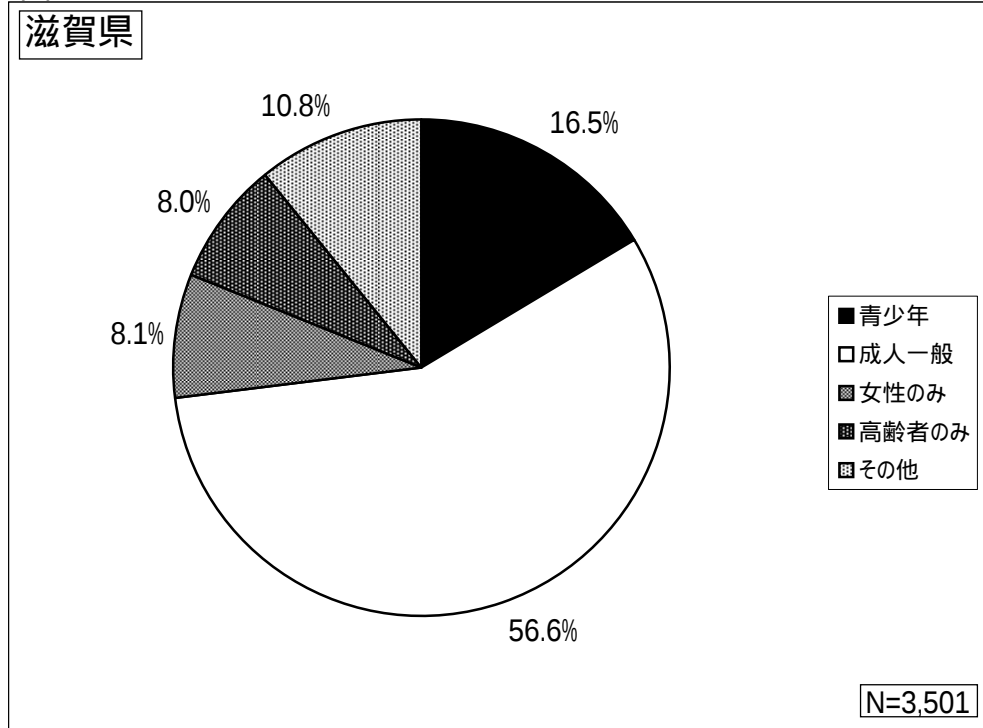
県内の学習グループ・サークル総数のうち、64.5%が趣味・けいこごとで最も多く、続いて体育・レクリエーションの15.0%である。

12 事業(主催・共催)について (1)学習事業の内容



学級・講座等の件数で最も多いのは、趣味・けいこごとであり、割合は全体の29.0%となる。続いて、家庭教育・家庭生活25.4%、体育・レクリエーション13.5%である。職業知識・技術の向上は1.4%、指導者養成は0.8%である。全国と比べて、滋賀県は教養の向上の割合が高く、趣味・けいこごとの割合が低い。

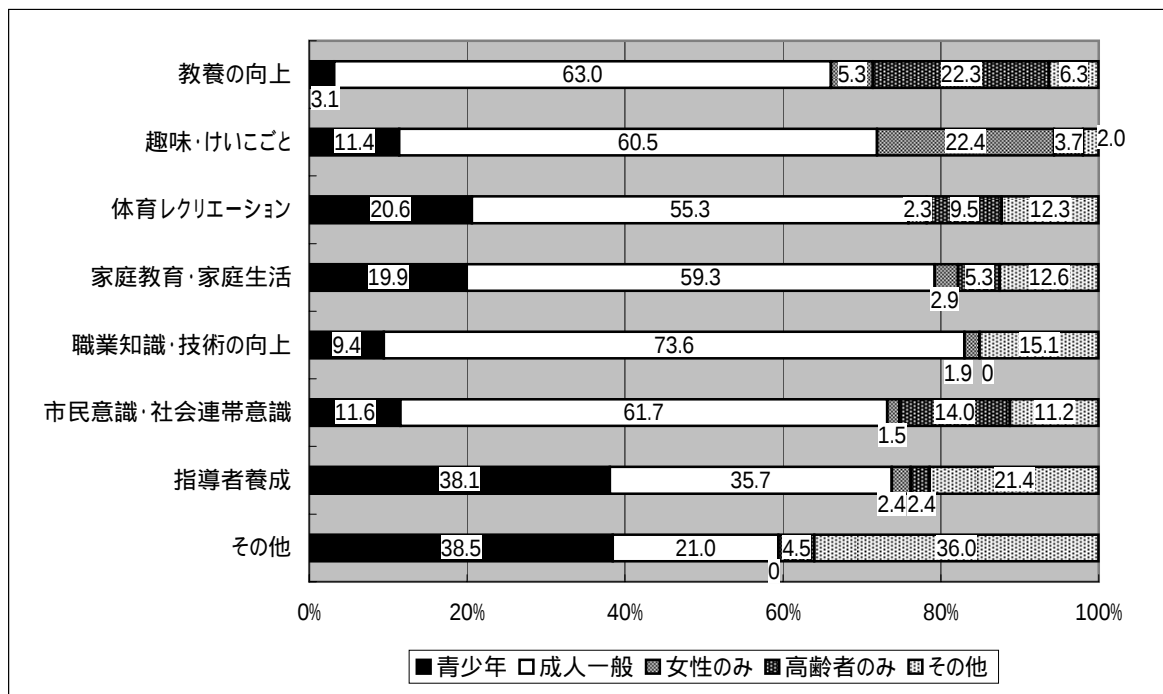
(2)事業の実施対象



(複数回答)

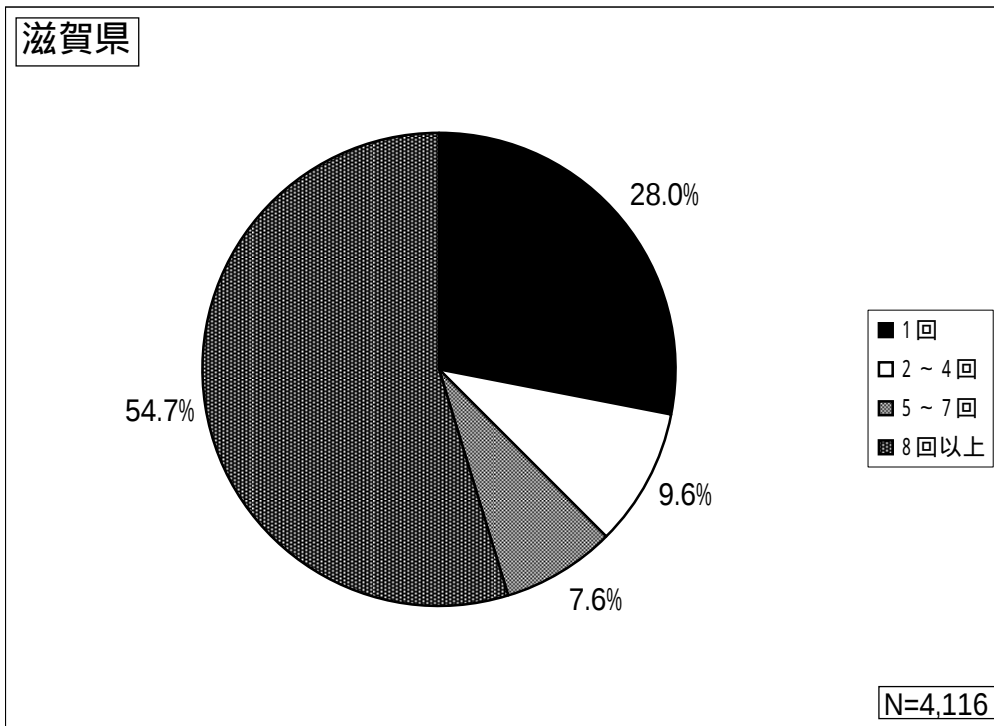
事業の実施対象の割合は、成人一般対象が56.6%で最も多く、次いで青少年対象が16.5%となっている。

(3)学習内容別実施の対象



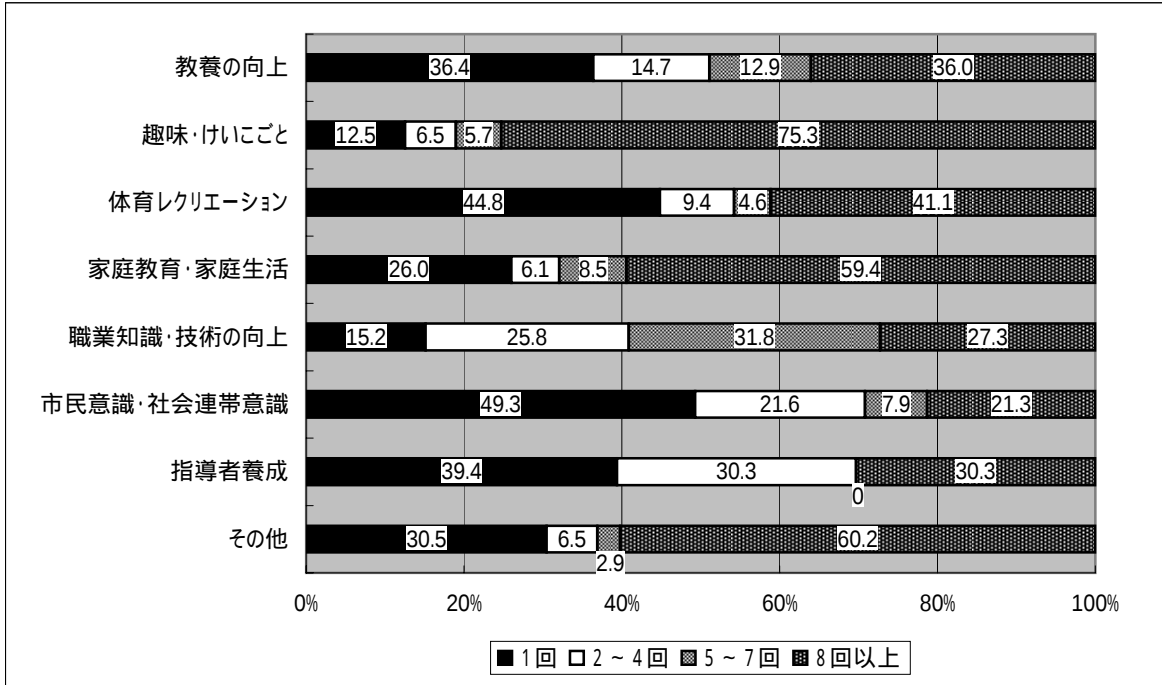
指導者養成は、青少年を対象とした事業の率が高くなっている。一方、それ以外の学習内容では、成人一般対象とした事業の率が高くなっている。

(4)事業の実施回数



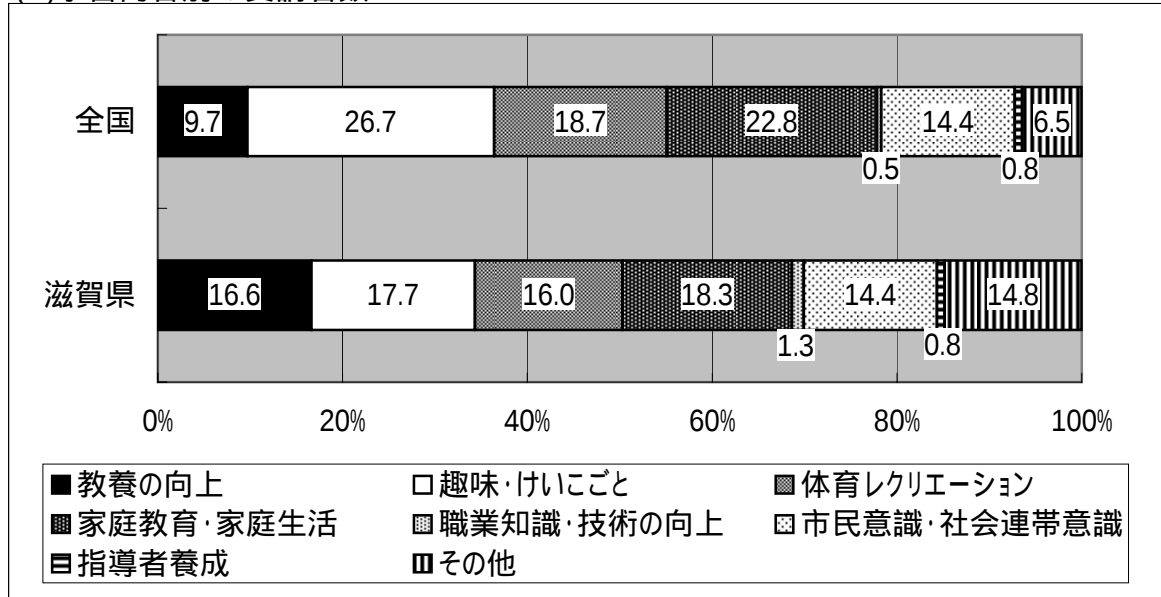
8回以上の事業が一番多く、54.7%である。次いで1回の28.0%となっている。

(5)学習内容別実施回数



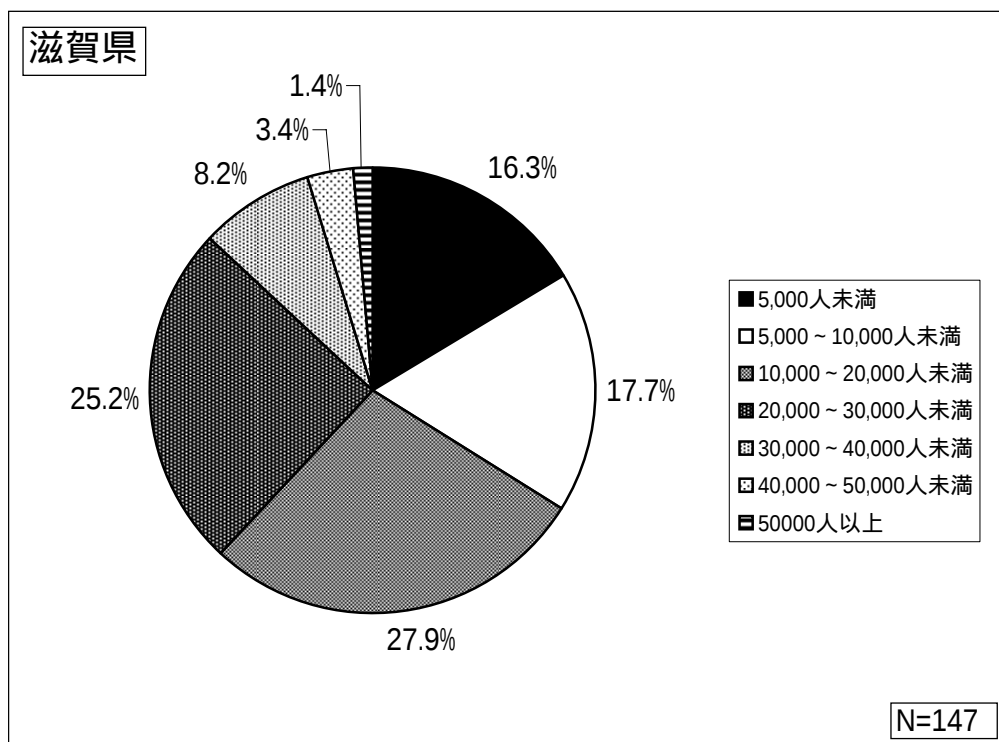
趣味・けいこごと、家庭教育・家庭生活は、8回以上の率が高くなっている。市民意識・社会連帯意識は、1回のみの事業の率が高い。

(6)学習内容別の受講者数



滋賀県は学級・講座の受講者数の割合で最も高いのは、家庭教育・家庭生活の18.3%である。職業知識・技術の向上は1.3%、指導者養成は0.8%である。全国と比べて、滋賀県は教養の向上の受講者数の割合が高い。

13 年間利用者数について



公民館の利用者、事業の受講者を合わせた数である。10,000人～20,000人未満の公民館が27.9%と最も多く、続いて、20,000人～30,000人未満は25.2%である。50,000人以上の公民館は、1.4%である。